



いずみ

令和7年4月30日発行

<学校教育目標>

自ら行動する子
かかわり合い、
よりよい自分を
目指す子

学校HP



コミュニティ
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

教務主任 石橋 玉有

今年度も教務主任と算数少人数を担当します、石橋です。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。子供たちは環境に少しずつ慣れはじめ、新たな友達や新しい先生と関わりながら学校生活を楽しんでいます。新学期のスタートにたくさんの笑顔を見ることができ、嬉しく思います。

昨年度から和泉小学校は、「自ら行動する子」「かかわり合い、よりよい自分を目指す子」を学校教育目標として教育活動を進めています。この1年で、子供たちの行動や発言に少しずつ変化が見られました。今年度も、和泉小学校の柱となるこの2つの目標を意識して力を高められるように教育活動を進めていきます。

さて、本校では、校内研究を中心に「問い」を大切にしたい学びについて深めています。

まず、学習では、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせ「問い」をもてるように学習活動の工夫をしたり、教師と児童が協働して学習計画を立てたりしながら授業づくりを行っています。10月に「狛市の教育21 研究協力校」の研究発表会がありますが、そこをゴールとせず、今後の生活がさらによりよくなるよう「問い」の在り方やもたせ方、生かし方について考えていきます。

また、学校生活では、今年度からクラブ活動と同様に委員会活動も希望制に変更し、進めています。委員会活動をする上でも自己の意欲を大切に、課題を見だし、解決するために対話を図り、解決策を考えていきます。また、昨年度から設置した「児童運営委員会」では、4~6年生の学級代表と委員会の委員長(6年生)だけではなく、副委員長(5年生)も参加し、29人に規模を拡大して取り組んでいきます。そして、児童運営委員会を中心に「学校生活の中での問い」をもち、学校生活での「なぜ」、「どうして」などに目を向け、新たな考えを基に学校全体で考え、課題を解決していく力を伸ばしていきます。

昨年度は、「どのような学校にしていきたいか」の質問に教員が答えた内容を、学校だより5月号に掲載しました。今年度は、6年生に「こんな和泉小学校にしたい」という内容のアンケートを取りましたので、その一部を紹介させていただきます。内容として「笑顔いっぱいの楽しい和泉小学校にしたい」、「他学年との触れ合いを多くしたい」、「新しいことに挑戦できる学校にしたい」、「生徒が考え、実現し、作っていく学校」、「みんなが居心地よく、毎日来るのが楽しみになるような学校にしたい」、「困っている人がいたら助け合える学校!」、「みんなが楽しく、いじめがない(みんなが平等な)学校にしたい」など、それぞれの想いが書かれていました。「楽しさ」、「異学年交流」、「挑戦」、「居心地」、「協力」、「平等」など子供たちが自分だけではなく他者のことも意識していることが読み取れます。昨年度の教員の想いと比べてみると同様の内容が書かれていて、教員の想いや願いが多くの子供たちに届いているように感じました。今後も子供たちの想いと教員の想いを教育課程に組み込みながら、子供たちにしっかりと寄り添い、対話を通してよりよい学校づくりを目指すとともに、保護者、地域の皆様とともに一緒に考えながら和泉小学校を創り上げていきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

5月の安全指導

気持ちのよい挨拶

○相手の心に響く、気持ちのよい挨拶について指導します。ご家庭でも気持ちのよい挨拶に取り組んでほしいと思います。

持ち物の記名の確認をお願いします。

特に、上履きのつま先部分への記名漏れがないかご確認ください。



上履き

つま先とかかと
2か所に記名を
お願いします。



個人情報保護
のために端々
に記名を願
います。
(裏でも可)